

科目名	日本の歴史	
担当者	塩満 郁夫 / SHIOMITSU, Ikuo	
科目情報	教養科目1群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	国際化の現代にあつて、日本人として生きるために必要なことは、日本の風土と歴史を正しくとらえることだと思う。史料を通じて、日本の近世及び明治維新を学習し、併せて鹿児島 of 歴史も概観する。
	到達目標	江戸時代から明治維新の基礎的な事項を通じて、日本の近代国家への歩みを理解する。
授業計画	(1) 日本史の時代区分、江戸幕府の成立 (2) 農民と町人支配 (3) 鎖国の完成と幕藩体制の確立 (4) 文治政治への転換 (5) 元禄文化 (6) 財政の窮乏と幕藩政治の転換 (7) 百姓一揆と打ちこわし (8) 新しい学問・思想の誕生 (9) 幕藩体制の動揺 (10) 近代への胎動 (11) 激動するアジアと日本の開国 (12) 討幕運動の展開 (13) 明治維新 (14) 明治初期の外交 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・受講後、毎回内容等を必ず整理すること。 ・質問等はいつでも受け付ける。
使用教材・参考文献	【教】教科書は使用しない。講義中に配布するプリントを用いる。 【参】佐々木潤之介他編『概論日本歴史』吉川弘文館 2009年	
成績評価方法と基準	<基準>講義の内容が理解された場合を合格とする。 <方法>受講態度30%、終了試験70%	
備考	「教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。」	